

四国の川を考える会助成事業報告書

1. 活動またはイベント名：「学んで遊ぼう、鮎喰川。2023」
2. 主催：「徳島の川に親しむダンスの会」(TDCS)
後援：徳島県、吉野川交流推進会議、
助成：四国の川を考える会
3. 開催日時：2023年7月30日(日) 13時～16時
(前日に会場の草刈及び安全性の点検・駐車場の整備)
4. 開催場所：鮎喰川(神山町下分栗生野)／「てくてく栗生野」付近の水辺
5. 参加人数：119名(子供56名・大人32名・スタッフ31名)

6. 目的：

川は危ない！という認識が強く、川に入らず川を知らない子ども達が多くなっている中で、子ども達やその保護者を対象に、川で楽しく遊びながら川を知り、「川」や「自然」と触れ合う楽しさを通して自然環境の大切さを感じてもらい、川文化を育み自然と共存していこうとする意識を育てたいと考え本イベントを計画しました。

7. 内容：

- ・川のお話
- ・水中ダンス
- ・水中レクリエーション(台風の目・石積競争、他)
- ・ストーンアート

このイベントは、県内の子どもたちやその保護者と共に川に入り、川の話や様々な川中レクリエーションを通して、「川」の魅力を実感してもらうイベントです。「川」の話や水防の話をした後、川中ダンスや、川中で台風の目競争・川中で石積み競争など、4つのグループに分かれて川の中でのレクリエーションを行い初めて出会う仲間と楽しく交流しました。その後、川中で気に入った石を拾いペイントして川遊びの思い出を描きました。自由遊びでは、川の生き物の採取や、岩からの飛び込みや浮島に乗り川の流れを楽しむなど、子どもが大好きなスリル感も味わい楽しみました。

イベントを開催したこの場所は、安全性や水質、生き物調査など、子どもたちが川と触れうる環境として非常に良い場所です。このことから初めて川に触れる子ども達にも川遊びの楽しさを指導でき川の魅力を感じてもらうことができました。このことは、これから

の川との付き合い方について考えてもらえる切っ掛けにもなったと考えています。

8. PRポイント：

県内の子どもたちや保護者、そして保育教諭や教員の資格者によるイベント指導はとても楽しく毎年の魅力的なイベントになっています。このことから参加者は、「川」の魅力に気づき、「自然」と「人」との繋がりや「文化」について理解できるようになってきたと思います。同時に川でのレクリエーションによって初めて出会う子ども同士の仲間関係が育まれることから人間関係の育成も可能になりました。また活動全般を通して水防の意味も感じてもらうことが出来ました。川深い所に飛び込み足が川底につかない感覚を初めて経験した子どもが多かったようですが、自分の体が浮くという体験により命を守るライフジャケットの重要性を認識していました。

このイベントは3回目であり、リピーターも多くなってきました。参加人数も年々増えてきておりイベントの定着性を感じます。インスタには、今回初めて参加者した方から「今回は大変素晴らしいイベント有難うございました。4歳の娘も小学校のお姉ちゃんたちと楽しく遊べてとても大満足でした。また是非参加させていただきたいので、次回開催の際もお知らせいただけますと幸いです。」と嬉しいメッセージをいただき開催主催者として嬉しく疲れが吹き飛びました。来年も開催したいと思いますが、新しいスタッフの確保と育成に努力する必要性を感じました。

※資料 イベント当日写真

1 水中散策





2 水中ダンス



3 水中ゲーム（台風の日）



4 水中ゲーム (石積み競争)



4 自由遊び





7 参加の子ども達と集合写真



追伸：今年度の開催は、台風の心配もなく無事に開催できました。参加者は119名(子ども56名)で毎年少しずつ参加者が増えています。参加者の中には、リピーターが多くなりました。これは、このイベントの価値を理解してもらえていると考えています。当日は、晴天で気温上昇ため熱中症を心配しましたが、定期的な水分補給と水の中で遊ぶことでその心配もなく開催できました。自由遊びでは、岩から水の中に飛び込む楽しさを体験した子どもたちが、安全性を確認した上でそのスリル感を何度も味わい、川遊びの楽しさを身体と心で体感していました。この体験で川との新しい関わりを気づけた子どもたちも多かったのではないかと思います。保護者の方も一緒に川に入り、子どもとレクリエーションを楽しんでもらうなど童心にかえって子どもと川遊びを楽しむことが出来、親子のコミュニケーションや知らない子ども達同士のコミュニケーションも可能になり、人間同士の楽しい関わりが川を通して可能になりました。これは、不測の事態が起きたときにも助け合おうとする心の育成にもなると確信し、心と身体を解放して行う川遊びの重要性を再認識出来ました。

最後に、終日、天候に恵まれたこと、また参加者の怪我や事故等もなく無事に開催出来たことをご報告いたします。

以上、「2023 遊んで学ぼう、鮎喰川。」の報告を終わります。